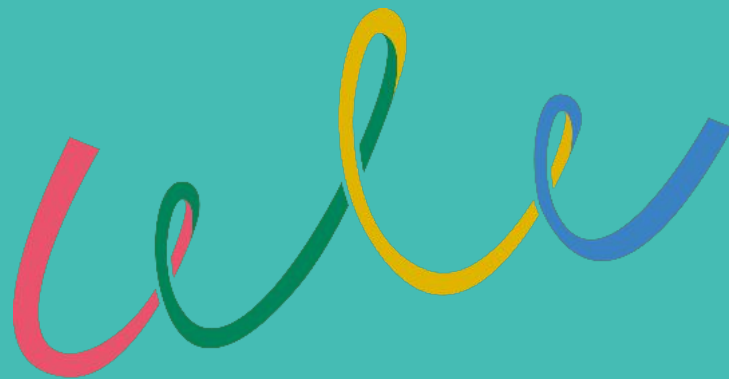




Well-Moving Network 設立 シンポジウム

心も一緒に動くまちを、
ここから。

「Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン」
そして、「Well-Moving Network」へ。

札幌市まちづくり政策局政策推進担当課 阿部 勇士



2023年6月2日

キックオフの日から2年

多くのみなさんと一緒に歩んできました

札幌の、未来の都市空間を想う人の数

約200名

※受付時点の参加者数



あなたは、20年後の札幌に、
どんな風景を残したいですか？



2024シンポジウム参加者:83名



2025シンポジウム参加者:135名



都市空間に関係のない人は、一人もない。



都市空間を変えることは、札幌で暮らす人の一日を変えること。



札幌が抱える、5つの都市課題

健康(ウェルネス)

札幌市の健康寿命は、他の政令市と比較して短く、身近な運動である歩行等の身体的活動を増やすことが課題

安全・安心

近年増加がみられる自転車対 歩行者の事故対策や、子どもを守る 都市環境の構築が課題

交流・にぎわい

人口減少や高齢化、町内会の 加入率低下が進む中で、地域活動の 担い手確保や、交流機会創出が課題

移 動

障がいを抱える方々や運転免許を持たない方々、観光で訪れる方々も含めた、誰もが円滑に移動できる公平性の確保が課題

環 境

2050年までのゼロカーボン シティ達成に向けて、移動の脱炭素化や都市緑化の推進、コンパクトな都市づくりが課題

世界で見たのは、きれいな空間ではなく、都市の「変え方」



【バルセロナ】
「道路空間を、
子どもや地域の
リビングへ」



【パリ】
「車中心から、
歩行・自転車
中心に転換」



※ロンドン市提供資料より引用

【ロンドン】
「健康政策
としての
道路整備」

<札幌へ持ち帰った3つの学び>

1. 都市課題を縦割りで解かない
2. 小さく試し、検証しながら広げる
3. 整備だけでなく使い続ける人とつくる

道路は、都市文化の舞台になることができる

AKAPLA

- ✓ 延長、面積：
約100m、約2,800m²
- ✓ 位置づけ：
条例広場(道路区域を残した
まま兼用工作物協定を締結)
- ✓ 指定管理者：
札幌駅前通まちづくり株式会社



- 整備前(道路空間) -



- 整備後(広場空間) -



- SMILE RINK SAPPORO -



- さっぽろ八月祭 -



- 3×3フェスティバル -



- アカプラピクニックシネマ -

対話と実践、そして庁内横断PJから生まれたビジョン。

検討段階から幅広く市民参加機会を設けるため、「サッポロオーカブルプロジェクト」と題して市民ワークショップ、シンポジウム、フィールドワーク、市民公募型実証実験を実施し、数百名以上の主体的な参加者と協働



札幌の20年先を見据えた新たな都市空間コンセプト



Well-Moving City
SAPPORO

～いつでもどこでも誰もが心地よく、心も一緒に動くまち～

札幌の明瞭な四季を象徴する4色を用い、街の中を歩くことで心が弾み、毎日が少し楽しくなるような様子を表現しました。曲がりくねった道は、思わず寄り道をしたくなる札幌のまち歩きの楽しさを表しています。全体のかたちは、「Well-Moving」の頭文字であるWとMをかたちどり、人が歩き、出会い、都市の魅力を感じながら移動する姿を象徴しています。

札幌らしく、
四季を通じて
歩かざる



歩くことが楽しく、
健康に暮らせる



Well-Moving City SAPPORO



居心地が良く、
自分らしくいられる
居場所がある



誰もが安心して、
円滑に移動できる



環境に優しく、
みどりとともに暮らせる



重点方針①歩くことが楽しく、健康に暮らせる。



特別な運動だけではなく、毎日の「歩く」をもっと楽しく。
都市空間から健康づくりを支えるまちを目指します。



- ・日常の身体活動が不足
- ・冬期は外出・運動機会が減少
- ・健康寿命の延伸が課題



- ・日常の移動が健康につながる
- ・ベンチ等を活用し、自分のペースで歩ける
- ・まち歩きを楽しめる

重点方針②居心地が良く、自分らしくいられる居場所がある。



何かをするためではなく、ただ居たくなる場所へ。
誰もが自分らしく過ごせる都市空間を目指します。



- ・通過するだけの空間が多い
- ・居心地よく過ごせる場所が少ない
- ・人との交流やつながりが生まれにくい



- ・思い思いに過ごせる居場所がある
- ・お金を使わなくても滞在できる
- ・自然な交流や出会いが生まれる

重点方針③札幌らしく、四季を通じて歩かざる。



雪も緑も都市の魅力へ。四季を資源として生かし、
一年中歩かざる、札幌らしいまちを目指します。



- ・季節によって移動が困難に
- ・四季を楽しむ工夫が不足
- ・地上と地下の分断



- ・雪・光・文化が外出の理由に
- ・市民も観光客も四季の札幌を楽しめる
- ・地上と地下を選びながら回遊できる

重点方針④誰もが安心して、円滑に移動できる。



子どもから高齢者まで、誰もが安全・安心・快適に移動できる、人にやさしい都市空間を目指します。



- ・歩行者・自転車の安全性が不足
- ・バリアフリー・案内が不十分
- ・車中心で移動しにくい



- ・誰もが安全・安心に歩ける
- ・子どもから高齢者まで快適に移動できる
- ・歩行者・自転車・公共交通が調和する

重点方針⑤環境に優しく、みどりとともに暮らせる。



みどりと公共交通、自転車、歩く暮らしを広げ、
人にも地球にもやさしい持続可能な都市空間を目指します。



- ・車への依存が高い
- ・みどりを感じる空間が少ない
- ・環境負荷の大きい移動が中心



- ・歩く・自転車・公共交通を選びやすい
- ・身近にみどりを感じながら暮らせる
- ・人にも地球にもやさしい都市空間

Well-Movingな 都心部

巡るたび、また巡りたくなる。
好奇心の積もる街並み。

#歩行者空間の拡大 #オープンカフェ
#快適な自転車通行空間 #休憩施設
#新たな公共交通 #多言語観光案内サイン
#沿道ビルとの一体感



都心部



●季節: 冬 ●時間: 夜間(休日)

地上と地下を最大限に活用して季節を楽しんでいる風景

都心部



●季節: 秋 ●時間: 夕方(平日)

魅力的な沿道・歩道空間で誰もが日常を楽しんでいる風景

誰にとっても
魅力的で、
つい巡りたくなる
街ってことだね★



Well-Movingな 地域交流拠点

行きも帰りも寄り道せずにいられない。
賑わい、出会いのターミナル。

#偶然の出会いが生まれる広場活用
#快適な交通広場
#移動しやすいバリアフリー空間
#滞在できるベンチや植栽 #エリアマネジメント



地域交流拠点



●季節: 夏 ●時間: 夕方(平日)

快適に移動でき、待ち時間も楽しんでいる風景

地域交流拠点



●季節: 夏 ●時間: 夜間(平日)

自然と歩みが遅くなり、思わず寄り道をしてしまう風景

地域交流拠点



●季節: 冬 ●時間: 昼間(休日)

屋内外を行き来しながら冬を満喫している風景

Well-Movingな 住宅市街地

自分らしく、気兼ねなく、出かけ愉しむ。
自然が彩る心地よい暮らし。

#心地よく歩ける散歩道 #歴史・景観資源
#自分らしくいられる身近な公園
#子ども中心の安全・安心な通学路
#モビリティ・ハブ



住宅市街地



●季節: 夏 ●時間: 朝方(平日)

子どもも安心して楽しく歩ける通学路の風景

住宅市街地



●季節: 春 ●時間: 昼間(平日)

誰もが思い思いに過ごしている身近な公園の風景

季節や時間帯、
場所が違って、
みんな居心地が
よさそうだね★



都心エリアのリーディングプロジェクト「大通公園周辺」



- 平成元年の再整備から30年以上が経過し、施設の老朽化が進むとともに公園に求められる役割も変化していることから、魅力ある公園づくりに向けた検討を進めています。
- また、街区・道路・公園の一体感がある居心地がよく歩きたくなる空間形成に向けた検討を進めます。

拠点エリアのリーディングプロジェクト「真駒内駅前地区」



- 駅前地区において、都市機能の集積や快適な歩行空間の創出を図るなど、南区全体の魅力向上に寄与する取組みを進めます。
- 駅からの人の流れを真駒内地域の各地へ誘導することにより、回遊性を向上させるなど周辺地区への波及展開を目指します。

住宅市街地エリアのリーディングプロジェクト「本郷商店街」



- 札幌市初のショッピング・モール事業(道路整備)にて整備した滞留空間等、歩行者に配慮した取組みを行っています。
- 今後は、札幌市初の「歩行者利便増進道路(通称:ほこみち)」指定を踏まえ、商店街とともに地域ニーズを踏まえたにぎわいの創出について検討します。

冬のWell-Moving実証実験①

新さっぽろ駅周辺に位置する「科学館公園」は、冬期間に活用されておらず、立地の優位性を活かせていなかった。官民連携事業を活用し、様々な企画を実施した結果、6時間半で4,103名もの来場者が訪れた

■Before



■After



【平時の状況】

- ・除雪はされており通行はできるもの
滞在者はほぼ居ない状況
- ・周辺の施設内に賑わいが留まっていた

【実施概要】

- ・エリアマネジメント団体や学生など多様な主体が連携し、雪上コタツ、ミニ映画館、雪遊びコーナー、雪上ミニ四駆、DJ体験、キッチンカー、ウォークラリーなどを実施

【実施効果】

- ・10～16時半の6時間半で4,103名の来場
- ・コタツに滞留する人々も457名を記録
- ・周辺の施設と行き来する人も多くみられ
エリア全体としての回遊性が向上した

冬のWell-Moving実証実験②

偕楽園緑地※は、冬期間に活用されておらず、特に夜は薄暗く近寄り難いエリアであった。町内会を中心にスノーキャンドル等の仕掛けを行った結果、夕方3時間で約200名もの来場者が訪れた

■Before



■After

※明治4年、開拓史により日本で初めて計画的に造成された緑地



【平時の状況】

- ・平時同時刻の調査では通行人が6名
- ・平均滞在時間は約4分程度
- ・辺りは薄暗く、近寄り難い印象

【実施概要】

- ・地域の協力により除雪し散策路が整備
- ・キッチンカーでは温かい珈琲を提供
- ・スノーアートにより回遊したくなるエリアに
- ・スノーキャンドル※の優しい灯りに包まれた

【実施効果】

- ・16～19時の3時間で約200名の来場
- ・平均滞在時間は約20分に増加
- ・久々に会う地域住民など、交流促進効果

※本市の調査によると、札幌市内では年間約3万個のスノーキャンドルが設置されていることが判明

Well-Movingな冬季の都市空間活用イメージ



夏冬どちらも市民の憩いの場になる広場空間



屋内外を行き来しながら冬のパブリックスペース

「やってみたい」を、諦めないためのガイドライン



パブリックスペース(公共的空間)は
誰もが利用できる開放的な場所
あなたの「やってみたい!」を
実現するガイドブックを作りました

札幌市のパブリックスペースで、フリーマーケット・マルシェ・ライブ・展示会・映画上映・キッチンカーの出店etc...

いろんなアイデア、いろんな「やってみたい!」を実現して、誰もがWell-Moving なまちづくりに参画できるように、活用のルール、手続きや申請フローをわかりやすく整理しました。

札幌市
パブリックスペース活用
ガイドライン



まずはどんな場所で
どんなことができるのか
見てみたい!★



Well-Moving City SAPPORO



すでに市内各地で取り組みがはじまっています
2045年に向けて、みんなで楽しみながらつくっていきましょう!



真駒内



富の沢



新さっぽろ



最新情報は
札幌市公式
ホームページから
ご確認ください

発行：札幌市まちづくり政策局政策企画部政策推進担当課

SAPPORO



さっぽろ
市公式
ホームページ
sapporo.jp



本日2026年7月23日、「Well-Moving Network」設立

みんなで一緒につこう Well-Moving City SAPPORO

「心も一緒に動く」まちづくり
あなたがやってみたい活動に
☑を入れてみよう!



産 民間企業等

建物の低層部に賑わいを作ったり、エリアマネジメントに参加したりして、魅力的な空間とサービスの提供を担います。

- ☒ 民間施設等における低層部のにぎわいや良質なオープンスペースの整備、運営
- ☒ 公開空地等、公共空間の積極的な活用
- ☒ エリアマネジメント等、地域まちづくりへの主体的な参加



民 地域住民等

生活者の視点からパブリックスペースを積極的に使いこなし、イベントや活動に参加して賑わいを生み出す原動力となります。

- ☒ 道路、公園、広場等の積極的な活用
- ☒ エリアマネジメント等、地域まちづくりへの主体的な参加
- ☒ 自転車や公共交通機関等の積極的な利用



産学官民がつながり、ためし、育てる場「Well-Moving Network」

「Well-Moving City SAPPORO」は、行政だけではつくることができません。

産学官民のさまざまな人たちがお互いの得意なことを持ち寄り、協力して進めていきましょう。

そんな共創型ネットワーク「Well-Moving Network」に、ぜひご参加ください!

どんな立場の人でも一緒にできることがありそうね★



学 大学・高校等

都市課題の研究を通じた政策提言や、学生の实践活动（ゼミや探究学習など）を通じて、まちづくりを知的・人的に支えます。

- ☒ 大学ゼミや学生団体によるまちづくり参画
- ☒ エリアマネジメント等、地域まちづくりへの主体的な参加
- ☒ 都市政策等に係る共同研究
- ☒ 小・中・高の総合的な学習の時間における活用



官 行政

推進プログラムの策定やハード整備を行うとともに、規制緩和や支援制度を整え、民間主体の活動を後押しする土台を作ります。

- ☒ 推進プログラムの策定と計画的なハード整備
- ☒ 分野横断的な推進体制と推進フローの明確化
- ☒ データの収集、オープンデータ化
- ☒ 規制緩和、支援制度の構築・運用
- ☒ 空間活用×官民共創に係る人材育成



Networkで、具体的に何をするのか。

① 出会う

人と人がつながる



パブリックスペース活用研究会

・制度を学ぶ ・事例を共有 ・失敗も共有



エリアマネジメント団体等の交流会

・人材 ・財源 ・組織運営
・地域調整の悩みを共有する

多様な実践者が出会う場

② 学ぶ

知識・経験を学び合う



知識・経験・失敗を共有

・事例紹介 ・悩み相談
・ワークショップ ・視察など

学びが、次の一步のヒントに

③ 試す

小さく実践してみる



SAPPORO WINTER ACTION

・雪・光・食・遊び・文化を生かす
・小さく試し、改善しながら育てる

札幌らしい実践を、仲間とチャレンジ

④ 広がる

他地域へ広げ、政策へつなげる



他分野とつなぐ

・観光まち歩き ・健康 ・音楽 ・アート
・子育て ・教育 ・学び など



実践を政策へ還元する

・成果と課題を整理 ・制度や支援の改善へ
・より良い環境づくりへつなげる

実践がつながり、札幌全体の風景を変える



人がつながる

多様な仲間と出会う



実践が生まれる

学び合い、小さく試す



地域へ広がる

他地域にも展開する



札幌の風景が変わる

Well-Movingなまちへ



Networkは、「点」を「つながり」に変える。

共感する人を集めるだけではなく、共感を実践へ変える仕組みです。

これまで（課題）

-  各地に素晴らしい活動がある
-  互いの存在を知らない
-  同じ悩みを別々に抱えている
-  一度きりのイベントで終わることがある

Networkによって



産学官民の実践をつなぎ、札幌市内各地にWell-Movingな風景を増やす。



一人ひとりがつながる入口が、きっとある。

13:10

「Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン」について

ビジョンの説明に加えて、札幌市から以下の取り組み紹介も予定しています。

✓札幌市の官民連携の取り組みについて【札幌市まちづくり政策局 公民広域連携推進室】

✓さっぽろまちキャンパス共創事業(学生によるまちづくり活動推進事業)について【株式会社 コエルワ(受託者)】

13:40



SAPPORO UPDATE
会長 林 匡宏 氏

ゲストトーク「これからの共創のかたち」

今年立ち上がった札幌官民共創プラットフォーム「SAPPORO UPDATE」の会長を務め、プレイスメイキングのトップランナーとして産学官民の連携をリードしてきた立場から、「次に必要な共創のかたち」についてお話していただきます。

14:00

まちづくり実践者たちによるクロストーク

「私にもできるかも」が見つかる！同日公開予定の「パブリックスペース活用ガイドライン」の内容にも触れながら、まちづくりの一步を踏み出した人たちのリアルをお話いただきます。

①パブリックスペース活用編



移動映画館キノモト
代表 田口 亮 氏



ビクニック・フェス宮の沢
実行委員会 長野 円 氏



学生団体マルシェ本舗
代表 中森 元 氏

②エリア価値向上編



創成イーストリンク
会長 東出 正和 氏



(一社)まちづくり篠路
代表理事 春原 啓慶 氏



本郷商店街振興組合
理事長 宇山 誠治 氏

14:50

参加者交流タイム

今日は、聞くだけで終わらない。

今日、皆さんにお願いしたいこと

- ① 「自分なら何ができるか」
を考えながら聞く



- ② 配布した活動団体の
チラシを手にする



- ③ クロストークで
「私にもできるかも」
を見つける



- ④ 交流タイムで、
普段会わない人と話す



- ⑤ NetworkWALL
に参加する



NetworkWALL



札幌の都市空間が、
もっとどうなってほしいか



Networkの仲間と、
何をやってみたいか



活動団体紹介
マップ



今日の配布物は、
既に動いている
仲間たちの存在を知るための
地図です。



今日を、始まりの一日に。

20年後の札幌を、ぜひ一緒につくりましょう。

